

青山学院大学は、すべての構成員が個人の責任において行う自由な言論活動・コミュニケーションを尊重し、促進していきたいと考えています。そのコミュニケーション活動において、ソーシャルメディアの活用はさまざまな価値・可能性を生み出すものであるというまでもありません。これは本学の理念「地球規模の視野に基づく正しい認識をもって自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する」ということにも合致します。青山学院大学は本学学生のみなさんが、安全にソーシャルメディアを活用し、よりよいコミュニケーションを図ってほしいと望んでいます。

ここに書いてあることは、学生のみなさんが、他人をみだりに傷つけず、自らを守り、自らの責任を負ったうえで、上手にソーシャルメディアを使うために、最低限知っておいてほしいことです。

1. ソーシャルメディアとは何かを知りましょう

ソーシャルメディアはコミュニケーションの道具の一つです。世界各国の情報を知りたいときの道具でもあります。さらに、見知らぬ人や気になる人がソーシャルメディアの中でどのように記録されているかを知りたいときにも使う道具です。しかし、便利なものでありますが、不完全なものであります。大学生としてソーシャルメディアについて学びましょう。

ソーシャルメディアとは、インターネットで展開される、個人の発信をもとに不特定多数のユーザーがコミュニケーションできるメディアのことです。

2. 道具を使うことによって他人を傷つけることがあります。

ソーシャルメディアにおけるコミュニケーション活動の基本として、一人ひとりの個性や多様性を尊重し、異なる意見や考え、生き方を互いに認め合うことを心掛けてください。

3. 知ることのできる情報が常に正しいとは限りません。正確な情報の利用を心がけ、うその話や不確かな情報を発信しないように注意しましょう。

ソーシャルメディア上には不確かな情報も多く掲載されています。情報の確認に注意を払うとともに、自らも正確な情報を伝えるようにしてください。意図的か否かにかかわらず虚偽や不確かな情報を発信することは、あなた個人のみならず家族や友人を傷つけたり、信頼関係を損なう場合があります。

4. 相手のみならず自分のプライバシーを守ることは、弱き人を強めることにつながります。

ソーシャルメディア上に、本人の許可なく他人の個人名や写真を掲載してはいけません。あなたが公共の場で表現しないようなことは、Web 上でも表現してはいけません。また、自分自身の個人情報を登録・公開する際には、利用するサービスの内容を十分に検討した上で行うようにしてください。オンライン上でのコミュニケーション活動では、情報を削除しても第三者において保存・アーカイブ化され、将来にわたり人物情報として利用されるおそれがあります。個人情報は掲載していなくても行動履歴等から個人が特定される事例もありますので、十分に注意してください。

5. ソーシャルメディアは国境を越えます。日本の法律のみならず、国際的なルールを守る必要があります。

各種法令を遵守するとともに、著作権など他者の権利を尊重し、安易な気持ちから権利侵害をしてしまうことのないよう、細心の注意を払ってください。また、大学における研究情報、インターンシップ先等で接する情報には守秘義務に関わる情報が含まれる場合があります。他者の情報の取り扱いには十分な配慮が必要です。

6. 青山学院大学の学生としてソーシャルメディアを使うことは、大学の一員としての責任を負うこととなります。そのことを自覚しましょう。

ソーシャルメディア上の情報は世界中に広がる可能性があり、一度書き込んだ内容を完全に削除することは出来ません。その内容に最終的に責任をもつのはあなた自身です。また、青山学院大学の学生であることを明らかにしてソーシャルメディアでコミュニケーション活動をする、あなたの意図しないかたちで青山学院大学や青山学院大学の学生を代表した発言と受け取られてしまうことがあります。

学生として、上記1～6のことがらに十分留意しつつ、ソーシャルメディアを活用するようにしてください。

相談・連絡先

ネット上でのトラブルが発生した場合、またはそのおそれがある場合は、下記の窓口に相談してください。